

前期学校評価の集計結果から

7月、1学期終了時に実施しました前期の学校評価アンケート。集計結果から分かること等紹介いたします。

また、2学期の教育活動のできることから結果を踏まえた見直しや改善等、進めていきたいと思えます。

※ 集計結果の全容については、別紙 学校評価集計結果をご覧ください。

【学校に関わること】

- 阿武町小中3校で共通し育てたい心や力として「きづく」「きめる」「かかわる」「やりぬく」の意識が高まっている。
- 「主体性と表現力をチーム福賀で」を重点取組事項として進めていることは、かなり知られ、協力しようという意識している人が多い。
- 読書週間の奨励、月5冊という目標提示によって子どもたちの意識が高まった。
- 重点取組事項への意識の共有、学力向上に向けた授業改善の取組は高く評価していただいている。

- 体力向上に向け、更なる指導や啓発の必要性がある。
- 学校行事の見直し、また地域の方へ授業や学力向上、いじめに対する指導の様子をもっと知ってもらう必要がある。
- 子どもたちの言葉遣いや姿勢の悪さが気になる。
- 地域の方の名前を知らせる工夫を。
- 「主体性」の意識は高いが、実際の行動や子どもたちの姿に反映されていない。（発表への意識等）
- 学級減に伴う職員数の減少により、一人ひとりの業務が増えており、ゆとりがなくなっている。

【家庭に関わること】

- 早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき等の基本的な生活習慣が身についている。
- 家庭で、学校でのことを家族と一緒に話している家庭が多い。
- 「チーム福賀」の一員として、子どもたちの育成に関わろうとする意識が高まっている。（わからないと答えた数の減少）

- 出された宿題はできていることが多いが、家庭学習の習慣（学年×10分+10分）は十分ではない。
- 体力づくりへの取組の必要性や目的がまだ浸透していない。
- 家庭でのお手伝いがあまりできていない。

【地域に関わること】

- 地域の方とのふれ合いを通して、ふるさと福賀のよさを感じている子どもの割合が高い。
- 「主体性と表現力をチーム福賀で」という重点取組事項が浸透している。
- 「チーム福賀」の一員として、学校、家庭と協働しながら子どもたちに関わっていただいている。

- 子どもたちが、もっと地域の方の名前と顔が一致するようになっていくとよい。
- 授業の様子や学力向上の取組、いじめへの対応など学校の取組を目にする機会が少ない。

学校運営協議会で協議されたことについて

7月20日（木）
第2回学校運営協議会を開き、
前期評価の結果を踏まえて、

委員の皆さんから
これから取り組んでいくべき
たくさんのご意見をいただきました。
この紙面にて報告させていただきます。

【児童に関わること】

●体力向上に向けて

- ・学校保健安全保健委員会で今年度重点取組事項として取り組む。家庭での運動メニューの実践を継続していく。
- ・至誠館大学との連携による授業の継続していく。
- ・阿武小と連携し、児童が競う場を設定する。
- ・全校体育で、教職員も参加し少しでのゲーム形式の運動を行っていく。
- ・担任も外に出て、よく啓発している。

●宿題はできているが、家庭学習に進んで取り組んでいないのではないかという課題について

- ・（学年×10分+10分）の目的を再確認する。小学生では、家庭での学習習慣付けのために、中学校では学習内容の質の向上に向けて、自学ではなく、教師からの課題を出して家庭学習を行っている。
- ・学習だけでなく、お手伝いや運動、読書も家庭での学習時間に含めて実施させるとよい。

●主体性の意識は高いが、慣れない人の前で力が発揮できないという課題について

- ・子どもたちはよく頑張っている。（運動会での姿はとても立派！）
- ・今の頑張りを、もっと大人が価値付け自信をもたせていくことが大切。子どもたちの自己肯定感の向上を！（しっかりとその場で褒める）
- ・「恥ずかしがらずに」とアンケートにはあるが、恥ずかしいと感じる気持ちは当たり前。質問を「恥ずかしくても、～。」という言葉に変えて、後期は子どもたちにたずねてみる。

●子どもたちの言葉遣いや姿勢について

- ・地域の中での子どもたちの言葉遣いはよい。
- ・姿勢が維持できない姿が低学年に多く見られる。その原因の一つとして体幹の弱さもある。体力向上の家庭や学校での運動メニューにも関連して取り組んでいく。
- ・交通立哨など決まった場であったときは、あいさつをするが、一保護者として出会ったときにあいさつがないことがある。
- ・教師も人権感覚を高くもつ。子どもたち同士の序列化等の発言などには、その場で適切に指導を行う。

【学校運営に関わること】

●地域の方へ授業や学力向上、いじめに対する取組が十分伝わっていないという課題に対して

- ・今年度から公開講座やことぶき会の皆さんとの百歳体操を一緒に行うなどの新しい取組を行うことにしている。
- ・学力向上については、全国学力状況調査の概要をまとめ、学校だよりで紹介していく。
- ・授業については、見ていただくことが一番の理解につながると考える。11月の学習発表会だけでなく、学校の参観日を（公民館を通じて）地域にも拡大し見ていただく場を増やす。

●教員数の減少による、一人ひとりの業務の多忙化について

- ・昨年度から2名担任が減り、その分学級担任の校務分掌が大幅に増えている。非常勤講師と専科（教頭）の授業を見直し、担任が校務分掌を行うための時間を3時間程度設けていく。（但し、今年度は非常勤講師との契約が決まっているため、R6から実施予定）
- ・玄関前の木をきってはどうか？（環境整備の時間減ため）
- ・これまで、グラウンドの整備のため軽トラを町役場まで借りに行っていたが、今後は支所から借りる。（移動時間の減少）